

回 覧

尾崎小だより No. 11

R3.2

み や ま



暦の上では、春

立春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

早いもので1月が終わり立春を迎えました。今年は節分が2月2日でした。節分と言えば2月3日という風に思っていた私には大きな違和感がありました。2日の節分は124年ぶりです。1897年、明治30年も2日が節分でした。なぜこんなことが起こるのかと調べてみました。節分は24節季の立春、立夏、立秋、立冬の前日のことです。2月の節分は旧暦では立春が正月であったため、今も残っています。地球が太陽の周りを1周する時間を1年、365日としました。しかし、厳密には365日より約6時間長くかかるので、4年に一度うるう年を設けて調整しています。約6時間も厳密には少し短いので400年に一度、うるう年をなくすことで暦を合わせています。この誤差により立春が4日ではなく3日になる年や5日になる年を設けることで調整しています。次の2日の節分は2025年になります。こんな124年ぶりという奇跡的な時を私は生きているんだなあと、ある種の感動をもって2月を過ごしています。

とはいえ、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言は、1ヶ月程度延長されるようです。尾崎小学校でも、日々感染防止対策に努め、今のところ大過なく学校生活が送られています。県下の小学校ではクラスターと認定され休校等の措置をとらざるを得ない学校も新聞紙上で報道されています。感染者数の増加は身近にコロナウイルスが存在することを表しています。いつ、誰が感染するかも分からない状況に変わりはありません。感染することが悪いかのような印象もありますが、今の状況では起こりうることだと思えます。極力感染しないように努めつつ、もしもの備えもしておくほかには方法が無いようです。感染しないように、感染を広げないように対策をとってまいります。

そんな状況でも、教育活動が行えているのは、ひとえに皆様のご協力によるものと感謝申し上げます。いつもの年とは違う日常、行事や活動にも制限がかかり、出来ないことも多い毎日です。間もなく巣立つ6年生には申し訳ない気もしております。そんな中でも、毎日元気なあいさつとともに登校し、それぞれの学級で地道な学びを続けて、体も心も成長している姿が見えます。春になれば、進学・進級の季節がやってきます。桜の花がつぼみに力を蓄えるように、新たな門出に向けて着実な成長を促してまいります。「尾崎の子供は尾崎で育てる」皆様のお声がけやご支援をよろしく願います。たくさんの大人に見守られ成長する子供は、いろんな生き方に出会い、その度に学習することが出来ます。

これからの学校生活

卒業式、入学式の季節がきます。感染拡大防止対策に努めて昨年同様に実施できるよう進めてまいります。マスクの着用・手洗いうがいの徹底・三密の回避等基本的な対策を一層強化しつつ、子供たちにとって今できる一番良いものを考えてまいります。ご理解、ご協力、ご支援をお願いします。尾崎にも春はそこまで来ています。